



Press Release

報道関係各位

ときわクラブ、丸の内記者クラブ、JR記者クラブ
に配信しています。

東京ステーションホテル 「ラッフルズ シンガポール」へ人材派遣を実施

2014年3月19日より実施中

東京ステーションホテルを運営する日本ホテル株式会社(東京都豊島区西池袋 1-11-1/代表取締役社長 澤田博司)は、シンガポールの最高級ホテル「ラッフルズ シンガポール」へ人材派遣を開始いたしました。

東京ステーションホテルは、1915年開業、2012年に東京駅丸の内駅舎の保存・復原完成と共に全施設を改装しリニューアルオープンいたしました。国指定重要文化財という歴史的建築物の中に位置する希少性と、およそ100年の歴史を有するホテルとして、多くのお客様にご利用いただいております。

この取り組みは、政府の観光立国推進等で今後さらに増加が見込まれるエグゼクティブ層の訪日外国人に、当ホテルの認知向上と世界水準のホスピタリティの提供を目的としております。その施策として当ホテルと同様に歴史性・文化的価値を持つラッフルズ シンガポールへの人材派遣に至りました。

2014年3月19日より、東京ステーションホテルのスタッフをラッフルズ シンガポールに派遣。当ホテルスタッフは約1年間、ラッフルズ シンガポールで実際に接客を行い国際水準のサービスを身につけます。

東京ステーションホテル総支配人の藤崎斉は今回の取り組みについて、「アジアにおいてもその存在感が増すシンガポールの代表的最高級ホテルのラッフルズ シンガポールへの人材派遣をスタートさせることができ、大変嬉しく思っております。お互いの歴史性、顧客セグメントの類似性等、共通点が多くあり、今回の人材派遣を起点にして両ホテル間の幅広い交流に繋がればと思います。」と述べております。

東京ステーションホテルは、東京を代表するホテルとして国内外のお客様を積極的にお迎えし、“色褪せることのない記憶”をコンセプトに、お客様と共感するおもてなしを目指してまいります。



<本件に関する報道関係者様のお問い合わせ先>

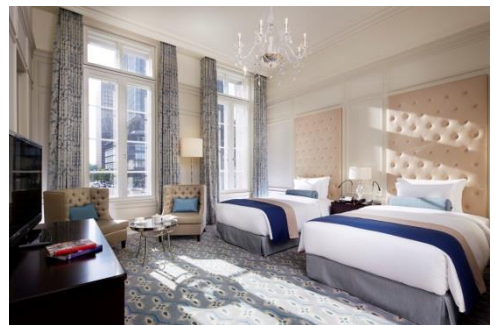
日本ホテル株式会社 東京ステーションホテル 広報担当 濱 純子
TEL : 03-5220-1915 FAX : 03-5220-0513

参考

About

東京ステーションホテルについて

1915年11月2日東京駅の中に、客室数58室、宴会場を備えたヨーロッパスタイルのホテルとして開業。壮麗な建築と当時最先端の設備で、国内外の多くの賓客を迎える。戦時の空襲による東京駅一部焼失で休館、1951年に営業を再開。川端康成や松本清張、江戸川乱歩など多くの文豪が宿泊、日本初となる“コーヒーショップ”という名称の飲食店を運営し人気を博したなど、名門ホテルとして多くのお客様にご利用いただく。東京駅丸の内駅舎の保存・復原事業に伴い2006年に休館。約6年半の時を経て全施設を改装し、2012年10月3日再び開業。ヨーロピアンクラシックを基調とした150の客室、10のレストラン&バー、フィットネス&スパ、宴会場など、都市型ホテルとしての機能を備え、「色褪せることのない記憶」をコンセプトにお客様の心に寄り添い“共感するおもてなし”を目指す。東京で現存するホテルとしては2番目に歴史があり、国指定重要文化財の中にすべてが位置するホテルとして国内唯一。また、発着列車本数日本一の東京駅舎に位置し、首都圏はもちろん国内各地への移動にも便利で他に類を見ない理想的なロケーションを誇る。



About

ラッフルズ シンガポールについて

シンガポールの創設者スタンフォード・ラッフルズ卿の名前が付けられた「ラッフルズ シンガポール」は、これまで数多くの俳優や文豪、ジャーナリスト、来賓にご利用いただく。イギリスの著名な小説家 ラドヤード・キップリングやサマセット・モームなどはこのホテルを愛し長期滞在中に多くの名作を書き上げたと言われている。彼らのストーリーが伝説となり、“シンガポールスリング”は世界的に有名なカクテルとして今日も多くの方々に親しまれている。

「ラッフルズ シンガポール」は、現在もシンガポールの象徴的なランドマークとして、世界中を旅する多くのビジネスマンや旅行者が訪れている。

世界のトップレベルのホテルとして、全103室のスイートルーム、数々の賞を受賞しているキューイジーヌ、エクスクルーシヴなショッピング、ユニークなアトラクションなどを有し、お客様をフレンドリーかつあたたかくお迎えし、あらゆるシーンで上質なひとときと高品質のサービスを提供する。

